



ヨコハマ市民まち普請事業

第1次整備提案書

<p>整備提案名 (25字以内)</p>	<p>樹林と湧水を活かしたホタルの里山づくり</p>
<p>提案グループ名 (25字以内)</p>	<p>緑地保全地区を核にしたホタルの里山づくり実行委員会</p>
<p>グループの現在の主な活動内容及び最近5年以内の活動実績</p>	<p>実行委員会は、事業申請のために結成したグループ名であり活動実績はありません。以下、各委員が参加している所属団体の活動実績を記載します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 宮沢の森愛護会（平成6年発足・会員数180名） 平成13年第9回横浜環境活動賞を受賞。 2) 和泉川・東山の水辺愛護会（平成8年発足・会員数50名） 平成17年度地域環境保全功労者表彰並びに、第17回横浜環境活動賞、平成18年度環境大臣賞受賞。 3) NPO法人楽竹会（平成14年発足・会員数80名） 平成18年第14回横浜環境活動賞受賞。 4) 宮沢・蟹沢緑地保全地区を育てる会（平成16年発足・会員数25名） 湧水量測定が起爆剤となり雨水浸透ます設置運動に寄与した。 5) 和泉川水循環再生委員会（平成16年～18年）。水循環の要となる流域内の「雨水浸透ます設置」に寄与した。
<p>整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)</p>	<p>横浜市瀬谷区宮沢3丁目（宮沢・蟹沢特別緑地保全地区 2haの一部） ※位置図及び現況写真（各A4判1ページ）を添付してください。</p>
<p>整備提案の内容 (どのような整備を提案するのか文章で記入してください)</p>	<p>(1) 特別緑地保全地区内の樹林の整備事業 保全地区内は、樹齢100有余年のケヤキの大木、常緑広葉樹のカシ・シイ・クスノキ・ツバキ、アオキ、落葉広葉樹のクヌギ・コナラ・ヤマザクラ、常緑針葉樹のスギ・ヒノキ・サワラ等の針葉樹や竹林等が密集した樹林です。整備事業により生き物が生息できる自然環境・景観・樹林空間を創出することになります。そのため、①生き物の実態調査、②「緑地保全管理プラン」を策定し、地域住民、子供たちの参加による環境整備に取り組む。</p> <p>(2) 湧水箇所並びに水路・水路周辺の整備事業 ・湧水箇所並びに水路・水路周辺を、カワニナ・オニヤンマ等の生物が生息・繁殖できるような水辺循環をつくりだし、水だまりの池には日射しを取り込み、水温を高めることを狙います。 ・保全地区内の水路周辺の生物を保護するため遊歩道を整備します。</p> <p>(3) 樹林周辺の整備事業並びに掲示板の設置 保全地区内への不法投棄防止・自然環境保全・安全確保のため、既設のフェンスの緑化による魅力化を図り、不足のところには、新たに景観を考慮した柵を設置し、併せて、地域の方への情報提供を目的とした案内板・掲示板等を設置します。</p> <p style="text-align: right;">整備費用の概算額：約500万円</p>
<p>整備提案の動機や背景 (整備に対する地域のニーズや整備によって解決したい地域の課題、整備の必要性などに触れながら箇条書きで記入してください)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・流域の樹林地を保全すると同時に、地域の特性を活かした宮沢地区らしい保全育成活動が必要と考えます。 ・湧水でつながった樹林を健全な形で再生し、森とまちが一体化した和泉川の環境と共に後世に残したい。 ・地域指定にとどまっていた「特別緑地保全地区」の中身を、住民との協働の力で新たな樹林地の保全育成管理のモデルとなるものを創り出したい。 ・これまでの愛護会・育てる会・NPO等による活動経験を土台に連携・協力を密に緑地保全地区を核としたつながり・地域の絆づくりを深めていきたい。

<p>整備の効果 (整備したい施設がどのような人たちに利用され、地域にどのように貢献すると考えますか?)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 宮沢地区内を流れる2級河川和泉川流域2.7kmを挟んだ東西の地形は、傾斜地であり樹林・竹林の屋敷林が点在する自然景観に恵まれた地域です。今回の事業を推進することにより、旧住民・新住民間の交流を深める機会・場を提供することになると共に、広大な自然空間を創出して、次の世代に継承することになります。 また、この整備によってこれまでの学校と地域の関係をより深めていく活動の場をつくり出すことになります。 今回、検討を進める「特別緑地保全管理プラン」の立案・実施は、流域のふれあい樹林や民有地の樹林など多様な緑地・水辺の環境管理の参考事例として意義あるものとなります。
<p>整備した施設の維持管理・運営 (整備した施設の維持管理や運営に、提案グループや地域住民等がどのようにかかわっていきますか?)</p>	<p>平成16年に発足した「宮沢・蟹沢緑地保全地区を育てる会」が中心になって維持管理・運営の役割を担いますが、将来構想としてはホテルの里山のイメージから子供・高齢者・地域住民等によるネットワークを構築した広域的なグループによる運営を計画していきたい。 例：「特別緑地保全管理プラン」</p>
<p>○提案内容におけるアイデアやユニークさ ○提案を実現するために活用する地域の資源 注4) ○その他提案について特にPRしたい点</p>	<ul style="list-style-type: none"> 特別緑地保全地区として、ネガティブに整備することから脱皮して、樹林と湧水の天然資源を活用した水と緑と生きものが共存する巨大空間の創出構想を実現するため、地域の複数の地権者・愛護団体・地域住民・自治会・行政等との連携した事業を推進すること。 間伐材の一部は、楽竹会所有の専用シュレッダーで粉碎し、資源として再生使用する実施例(間伐竹のチップ化・カブト虫の誕生・チップ材の堆肥化等)を事例集に編集。事例集は資源循環型社会構築例として大型スクリーン・プロジェクター・パソコン等の機材を活用して小中高校の出前講座等に活用する(一部実施済)。 湧水の水源地となる保全地区周辺の畑を、地域の子供たちとひょうたん栽培等へ活用し、地域の自然環境保全の大切さを学習する。 防護柵設置箇所に、あさがお・ひょうたん等を移植し、道路周辺の美観に供する。青色系のあさがおの花は子供たちの環境学習用教材に活用する。 (実施例：あさがおの花の搾り液を加えた水溶液に竹炭の粉末・竹酢液を滴下すると、酸性・アルカリ性が色の変化で分かる)。また、収穫したひょうたんは高齢者施設等で仕上げ加工を行い、作品の展示会に供する。

<p>整備場所の地権者等^{注5)}への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況</p>	
<p>説明の相手方</p>	<p>相手方の意見等</p>
<p>土地所有名義の小川富貴子は、本事業提案の実行委員長である小川英雄の母であり、一家で生活を共にしています。</p>	<p>保全地区の水と緑を活かした自然環境・景観を創出し、宮沢地区のシンボルゾーンとして次の世代を担う子どもたちに夢を与えて欲しい。</p>

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者(会社や行政機関も含む)

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

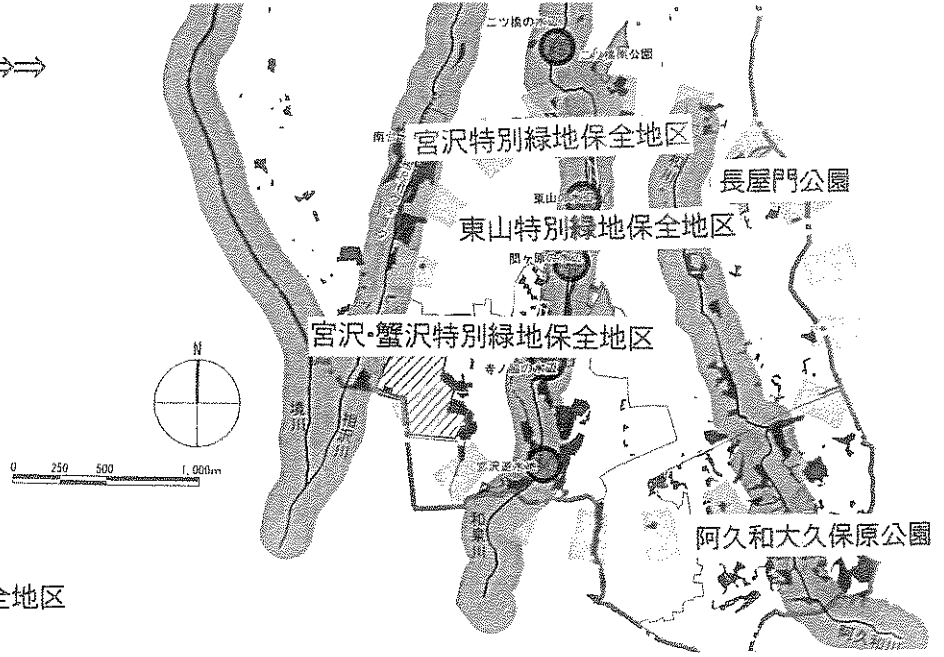
- ✓ 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- ✓ 記載内容に個人情報はありません。

整備場所位置図(住所:瀬谷区宮沢3丁目)

瀬谷区

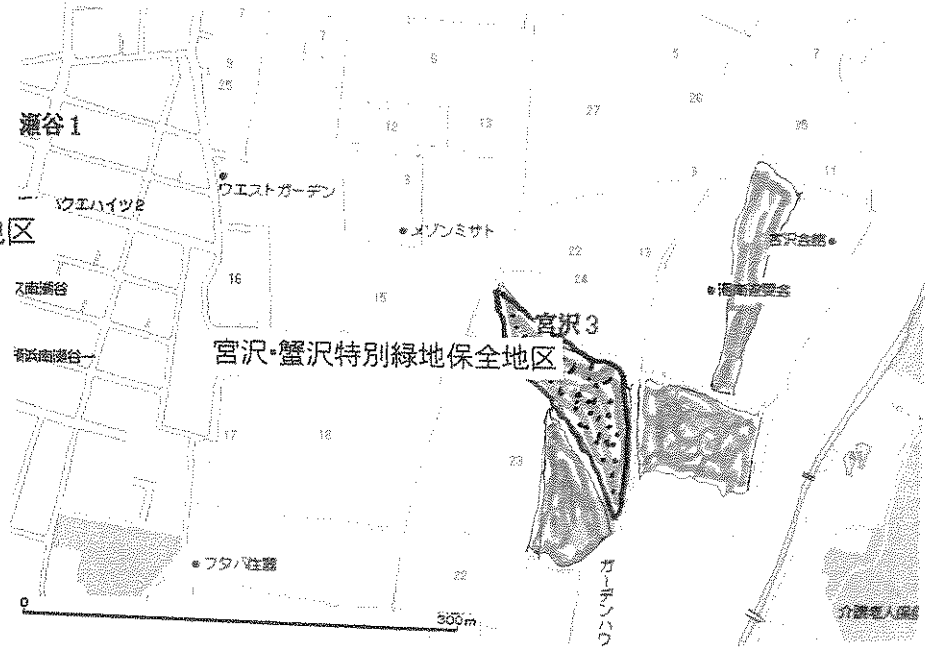
水と緑の南の拠点

- ・ 二ツ橋の水辺
- ・ 東山の水辺
- ・ 関ヶ原の水辺
- ・ 寺ノ脇の水辺
- ・ 宮沢遊水地
- ・ 東山ふれあい樹林
- ・ 宮沢ふれあい樹林
- ・ 瀬谷狝公園
- ・ 長屋門公園
- ・ 阿久和大久保原公園
- ・ 宮沢・蟹沢特別緑地保全地区



宮沢・蟹沢特別緑地保全地区

整備場所



整備周辺航空写真



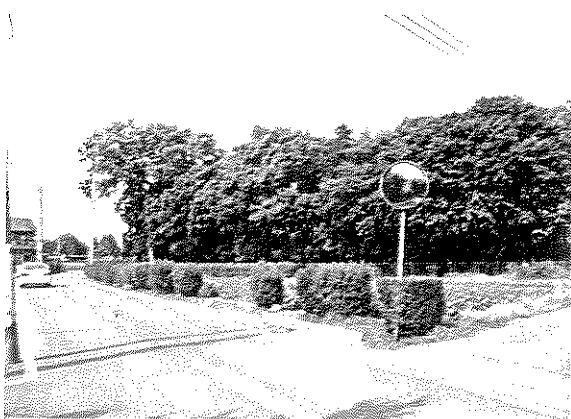
整備場所現況写真



東側



南側



西側



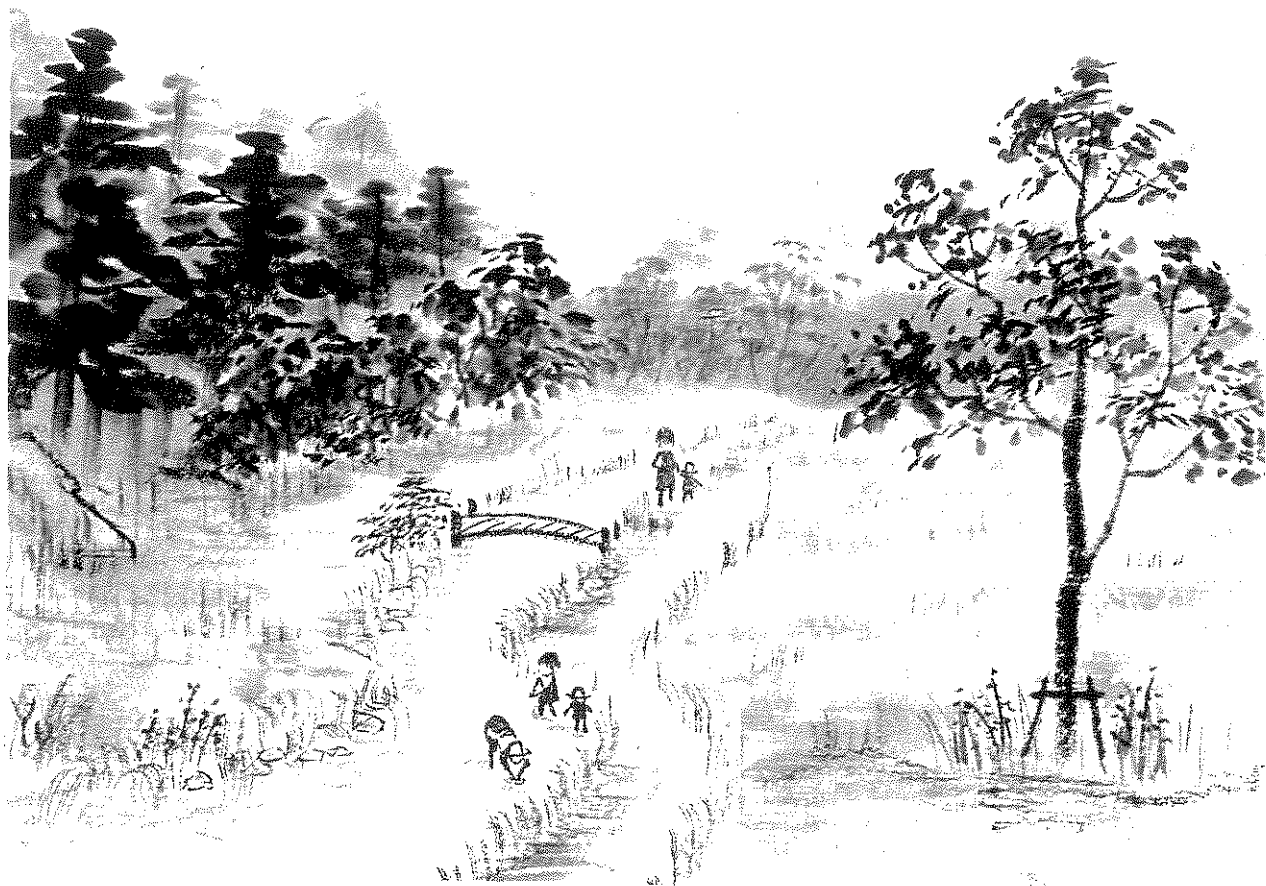
北側

整備提案イメージ図:その1

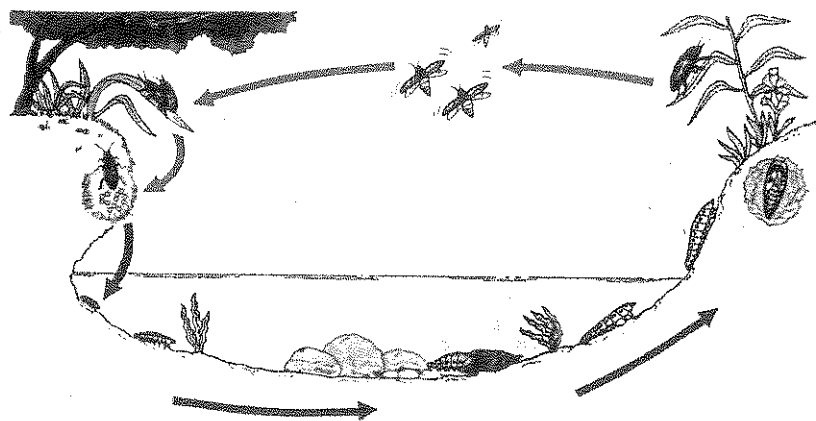


宮沢・蟹沢緑地保全地区 : 整備完成イメージ
下流(東)から上流水源地(西)を望む

整備提案イメージ図:その2



ホタル幻影 : 宮沢遊水地



ホタルの生態サイクル